

# 平成27年3月期 第1四半期決算説明資料

平成26年8月4日

## 【本資料に関する注意事項】

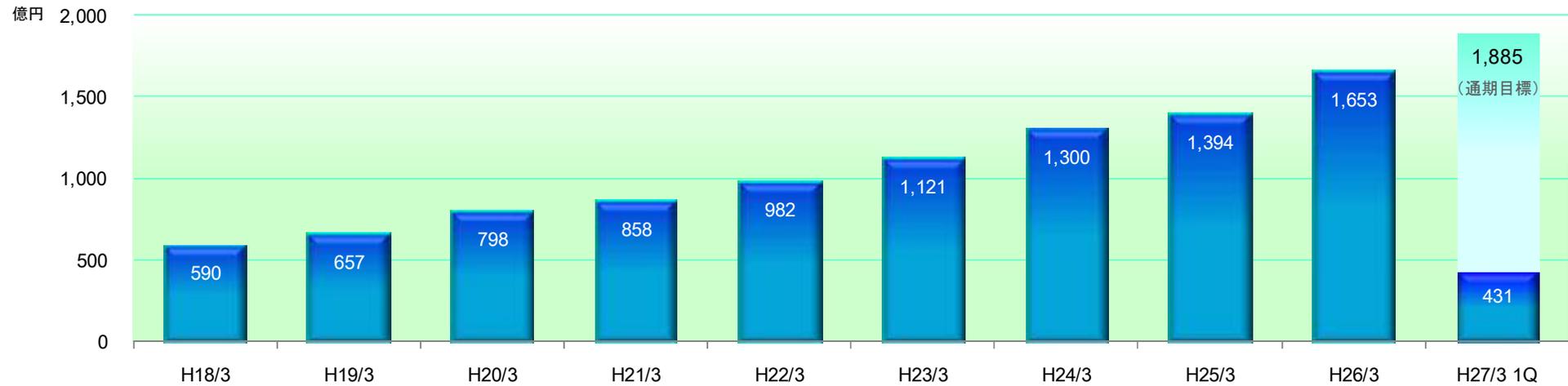
本資料は、本年7月31日に発表しました「平成27年3月期第1四半期決算短信」の決算補足説明資料として、同期間の業績動向を補足説明することを目的として作成したものです。本資料に掲載されている日本調剤株式会社及び同社子会社の業績目標、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、事業等のリスクや不確実な要因によっては、大きく変化する可能性があります。またその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘のため作成されたものではありません。投資を行う際には、十分に投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。



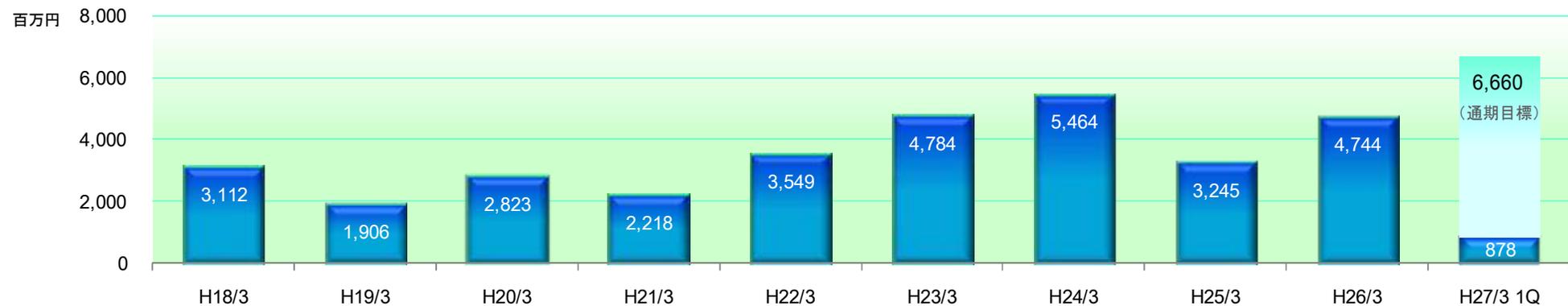
日本調剤株式会社

(証券コード 3341)

## 連結売上高推移



## 連結営業利益推移



(単位:百万円)

	H24/4-H24/6	H25/4-H25/6	H26/4-H26/6	対前年同期 増減額	同 増減率
売上高	33,304	39,733	43,133	3,400	8.6%
売上原価	28,321	33,440	36,005	2,565	7.7%
売上総利益	4,982	6,292	7,127	834	13.3%
対売上比(%)	15.0%	15.8%	16.5%	—	—
販管費	4,703	5,220	6,248	1,028	19.7%
営業利益	279	1,071	878	△193	△18.0%
対売上比(%)	0.8%	2.7%	2.0%	—	—
経常利益	180	946	756	△190	△20.1%
対売上比(%)	0.5%	2.4%	1.8%	—	—
当期純利益	25	378	293	△85	△22.7%
対売上比(%)	0.1%	1.0%	0.7%	—	—

※当社会計処理では消費税について販管費に計上しております。

(単位:百万円)

	H25/4-H25/6	H26/4-H26/6	構成比	対前年同期 増減額	同 増減率
調剤薬局事業	35,040	37,544	87.0%	2,504	7.1%
うち一般薬等売上	452	442	1.0%	△10	△2.2%
医薬品製造販売事業	3,704	4,360	10.1%	656	17.7%
医療従事者派遣・紹介事業	988	1,227	2.8%	239	24.2%
合          計	39,733	43,133	100.0%	3,400	8.6%

消費税増税分を除くと引き続き経費の伸びは抑制基調が継続。  
 研究開発費についてはグループ会社間連携効果等により減少。

(単位:百万円)

	H25/4-H25/6	H26/4-H26/6	構成比	対前年同期 増減額	同 増減率
<b>販 管 費</b>	5,220	6,248	14.5%	1,028	19.7%
（ 給 与 手 当 ）	833	823	1.9%	△9	△1.2%
（ 賃 借 料 ）	535	553	1.3%	17	3.4%
（ 消 費 税 等 ）	1,434	2,424	5.6%	990	69.0%
（ 研 究 開 発 費 ）	448	401	0.9%	△47	△10.6%

主な増減要因

- 【販管費】
- ・研究開発費  
（グループ会社間連携等）
- ・消費税等  
（消費税増税分等）

※構成比は売上に対する比率

(単位:百万円)

	H26/3末	H26/6末	増減額
流動資産	53,373	70,717	17,343
固定資産	63,921	65,175	1,253
有形固定資産	42,123	43,852	1,728
無形固定資産	11,103	10,889	△213
投資その他	10,694	10,432	△261
資産合計	117,295	135,892	18,597
流動負債	55,666	65,446	9,779
固定負債	45,779	54,301	8,522
負債合計	101,446	119,748	18,302
純資産合計	15,849	16,144	295

## 主な増減要因

【流動資産】	
・現金及び預金	+13,657
・商品及び製品	+3,956
【固定資産】	
・建設仮勘定	+1,589
【流動負債】	
・買掛金	+8,217
・短期借入金	+1,900
【固定負債】	
・長期借入金	+7,933
【純資産】	
・利益剰余金	+322

薬価改定直後の第1四半期につき、旧薬価ベースでの在庫品使用により原価率上昇。加えて調剤報酬改定による技術料収入の減少もあり、前年同期比減益。

(単位:百万円)

	H25/4-H25/6	H26/4-H26/6	増減額	増減率
売上高	35,040	37,546	2,506	7.2%
営業利益	1,753	1,190	△563	△32.1%

(※セグメント間取引消去前)

## セグメント売上高推移



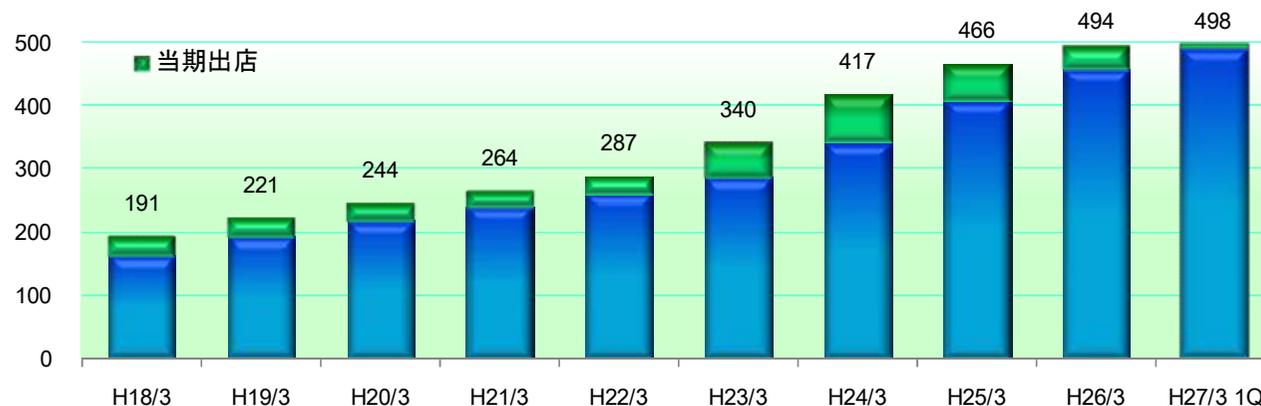
## セグメント営業利益推移



H26/4-H26/6 実績	
出店数	8
閉店数	4
総店舗数(6月末)	※ 498

※物販専門の1店舗を含む

## 各期末店舗数推移



## 当四半期出店の主な店舗



麻溝薬局  
(神奈川県相模原市)



新松戸薬局  
(千葉県松戸市)



大曲薬局  
(秋田県大仙市)



宮益坂薬局  
(東京都渋谷区)

改定新薬価に消費税増税相当部分が含まれており、既存店は実質売上微増。

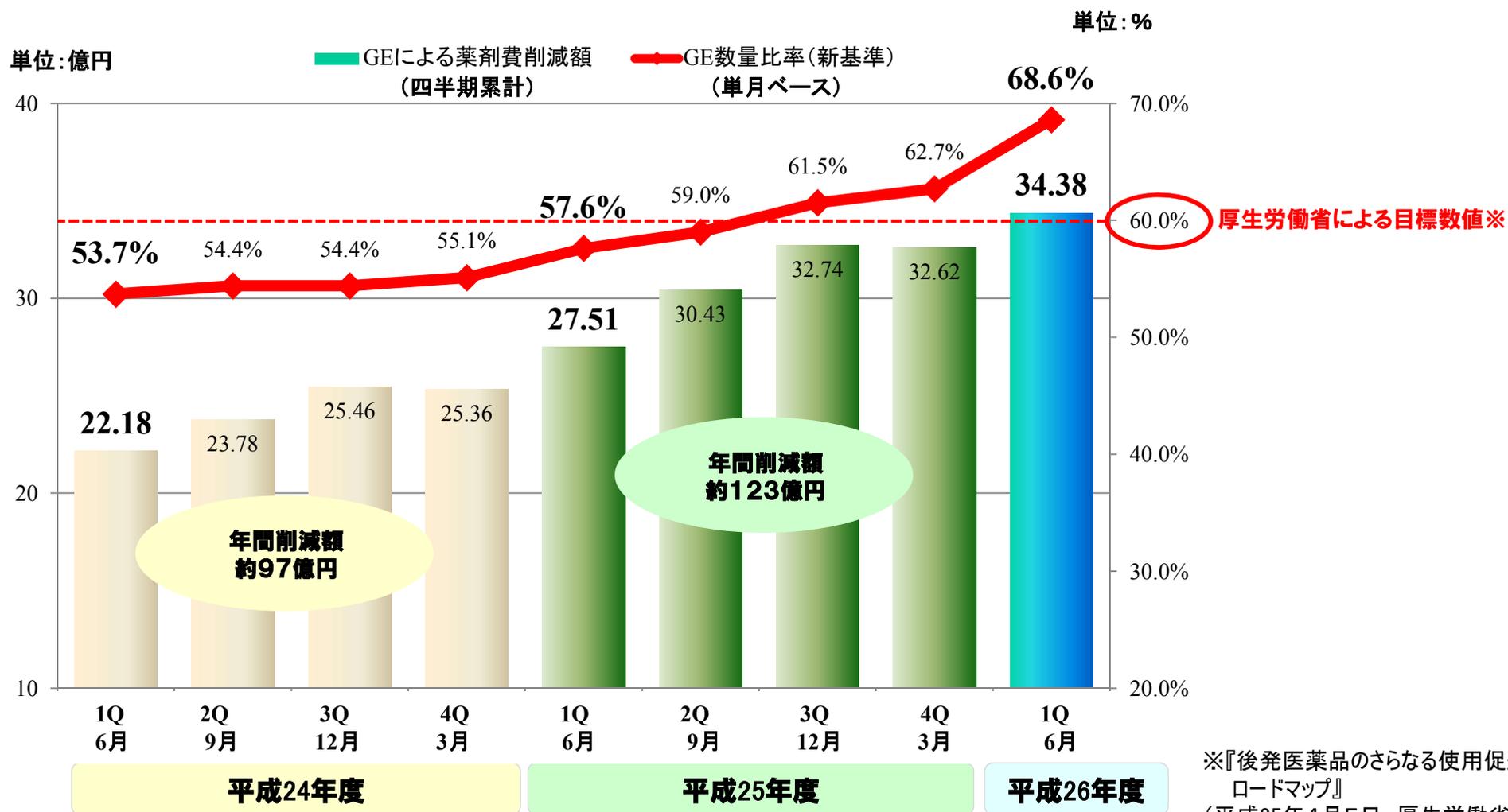
【日本調剤グループ 出店期別店舗調剤売上推移】

(単位:百万円)

	H26/6末 店舗数	H25/4-H25/6	H26/4-H26/6	増減額	増減率
既存店 (~H25/3)	452	34,236	35,409	1,172	3.4%
前期出店 (H25/4~H26/3)	37	178	1,431	1,253	703.9%
今期出店 (H26/4~H26/6)	8	—	194	194	—
その他	—	89	23	△65	△73.5%
計	497	34,503	37,059	2,555	7.4%

- ・ 調剤売上のみ(OTC等含まず)、発生ベース(返戻再請求を反映せず)
- ・ 期中閉局店舗分はその他に集計しております
- ・ 店舗数には物販専門の1店舗を含んでおりません

後発品調剤体制加算の算定要件見直しに合わせ、ジェネリック医薬品への変更をさらに加速。全社ベースで新基準にて65%を超えた。



※『後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ』(平成25年4月5日 厚生労働省)

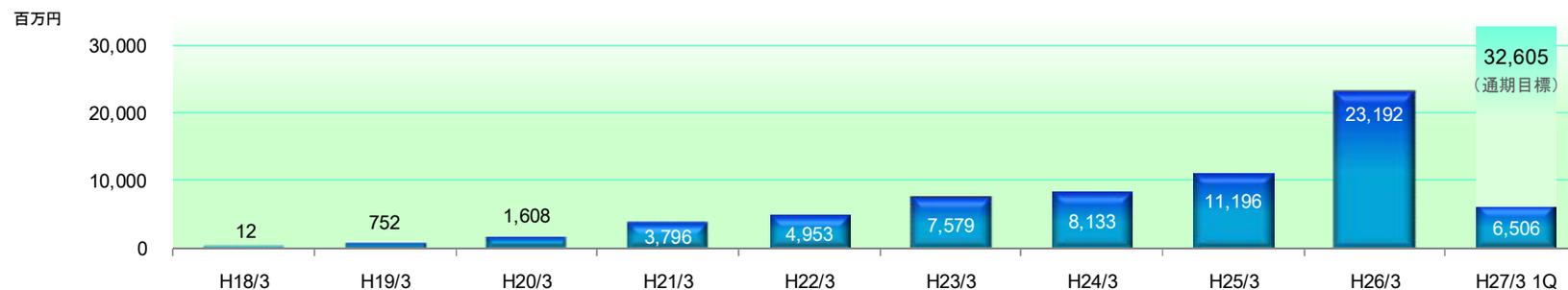
薬価改定による販売価格低下の影響あるが、  
グループ会社間での連携強化により対前年比大幅増収増益。

(単位:百万円)

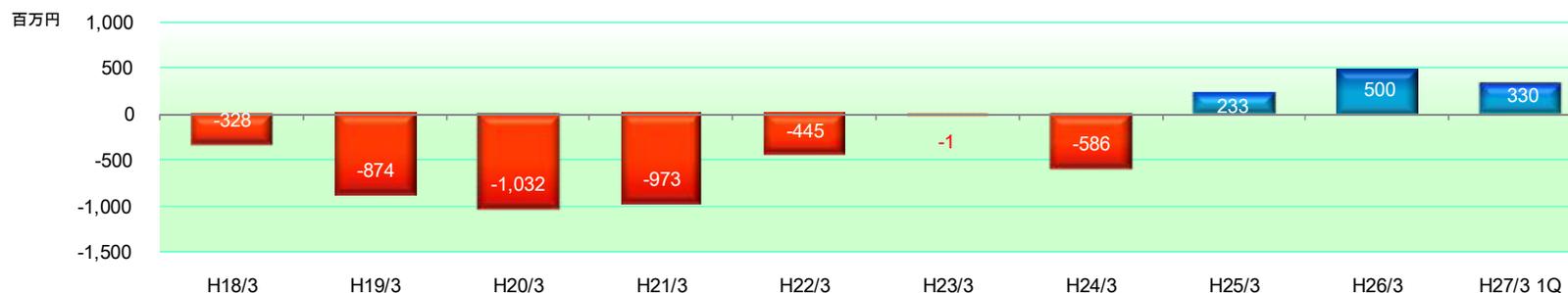
	H25/4-H25/6	H26/4-H26/6	増減額	増減率
売上高	5,561	6,506	945	17.0%
営業利益	74	330	256	345.5%

(※セグメント間取引消去前)

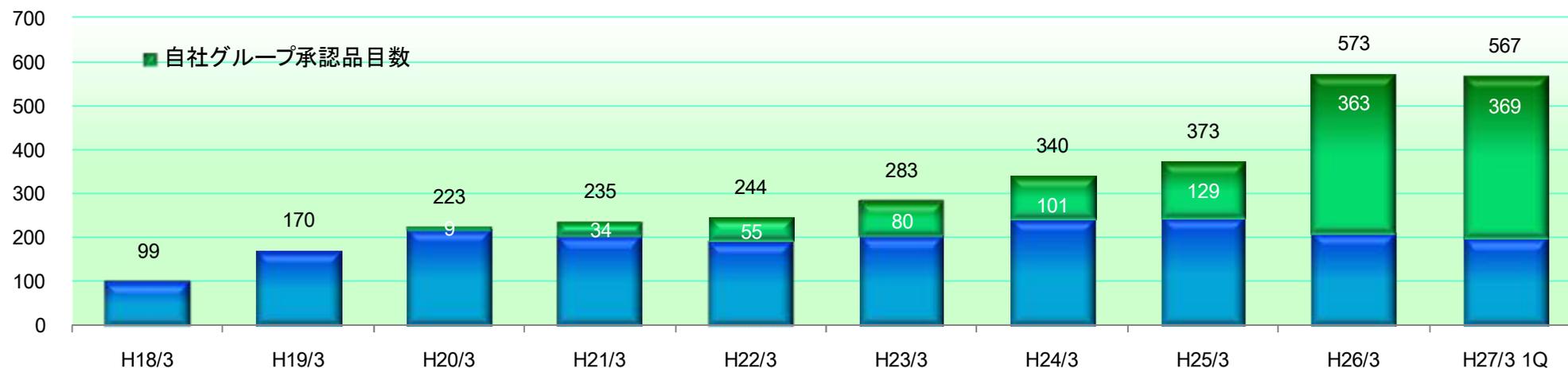
## セグメント売上高推移



## セグメント営業利益推移



## 販売品目数推移



## 平成26年6月 薬価基準収載品(9品目)

名称	名称	名称
バルサルタン錠20mg「JG」	バルサルタン錠160mg「JG」	シロスタゾールOD錠50mg「JG」
バルサルタン錠40mg「JG」	レボフロキサシン点眼液1.5%「JG」	シロスタゾールOD錠100mg「JG」
バルサルタン錠80mg「JG」	ロサルヒド配合錠LD「JG」	フェキソフェナジン塩酸塩OD錠60mg「YD」



製品名	同種品	薬効分類名
バルサルタン錠「JG」	ディオバン錠	選択的AT1受容体ブロックー
ロサルヒド配合錠LD「JG」	プレミネント配合錠LD	持続性ARB/利尿薬合剤
シロスタゾールOD錠「JG」	プレタールOD錠	抗血小板剤

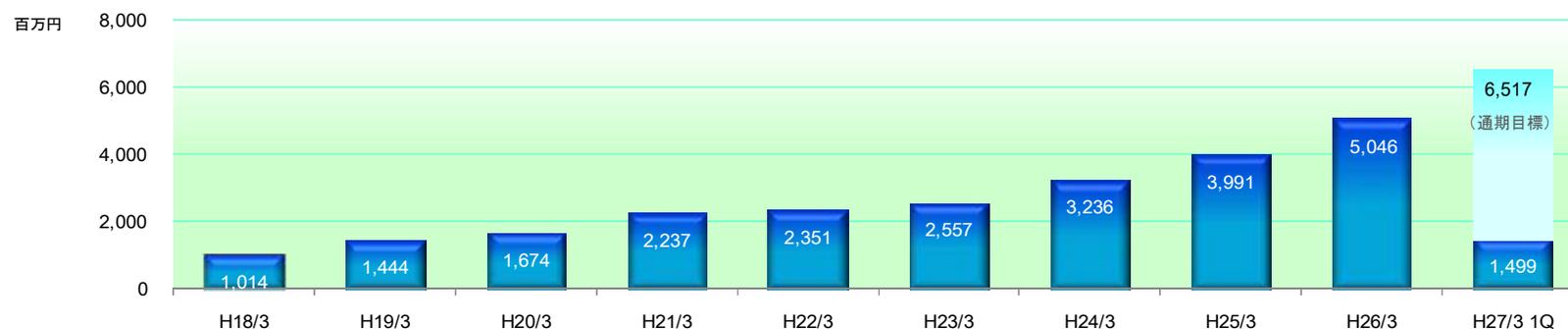
薬剤師国家試験の合格者数が近年で最小、他方在宅等の業務量増加で薬剤師需要が高い状態が続いており、派遣を中心に業績は順調に進展。

(単位:百万円)

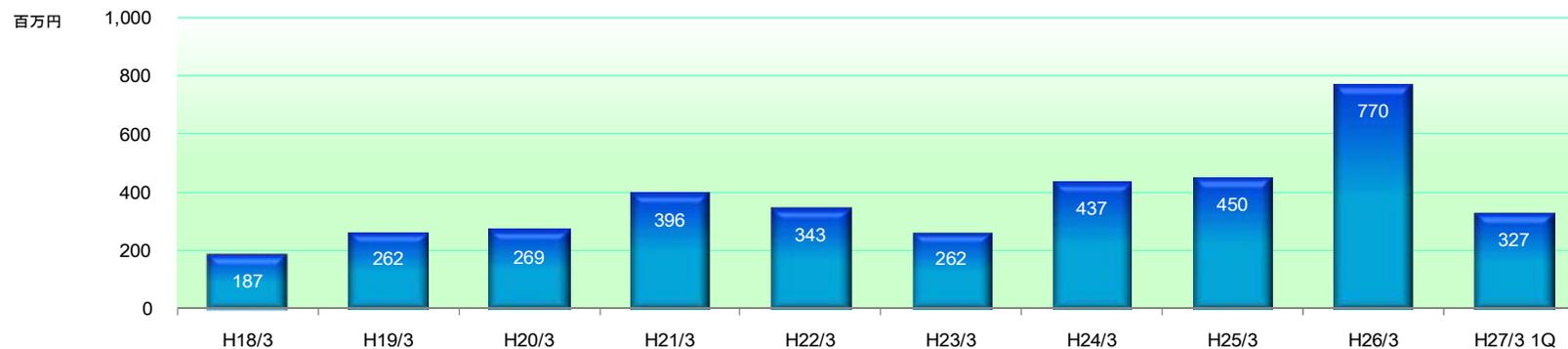
	H25/4-H25/6	H26/4-H26/6	増減額	増減率
売上高	1,284	1,499	214	16.7%
営業利益	283	327	44	15.6%

## セグメント売上高推移

(※セグメント間取引消去前)



## セグメント営業利益推移



● IRお問い合わせ先

日本調剤株式会社 経営企画部 IR担当まで  
〒100-6737 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
グラントウキョウノースタワー37F  
電話: 03-6810-0800(代表)  
E-Mail: ir-info@nichoco.jp  
IR専用ページ : <http://www.nichoco.jp/ir>